

『あ、風』 3歳児 4月 伏見こども園

子どもの姿

Aくんが砂場で、型抜き(おにぎり型)に汲んだ水や砂を入れていました。水がいっぱいになると今度はしゃがみ込み、こぼれないようにじっと容器を見ながらゆっくり水を移し替えました。最後まで水が入ると、ニコッと笑顔が見えました。

すると、そこにいきなりブワッと風が吹きました。Aくんは「あ、風。」とつぶやいて思わず立ち上がり、保育者の顔を見て嬉しそうに風が吹いてきた方を見ました。保育者は「風、吹いてきたね。」とAくんと同じ方を見ました。保育者と目を合わせると、Aくんは、また、同じようにもう一度型に空け移して遊び始めました。

この場面での子どもの育ちや学び

そおと、そおと。
(こぼさないように)(腕のコントロール)



あ、風。
(はっとする)(これまでの生活経験)



・Aくんの手の大きさにちょうど合った型抜きを近くで見つけたことで、空けたり移したりして集中して遊んでいた。

・「風が吹いた」(知っている)ことが起きた嬉しさを感じている。

保育者の思い

- ・いろいろな用具をすぐ手にとって遊べるように、砂場に用意しておきました。
- ・砂や水をこぼさないように慎重に空けたり移したりしているAくんの様子を見て「やってみようとしている遊びを大切にしたい」と思い、声をかけずに見守ることにしました。
- ・とても集中していたのに、突然吹いてきた風を体全体で感じ、思わずつぶやいて立ち上がったAくんの姿に驚きました。Aくんの表情から、何かを感じているのだなと思ったので交わす言葉を少なくしました。Aくんと同じ方を見ながら、ブワッと吹いた風が心地よかったのかな、肌に当たった風の感触がおもしろかったのかな、もっと吹いてほしかったのかなとAくんの思いを想像していました。本当はどう感じていたのかな。
- ・もう一度遊び始めたのは、感じていたことに満足したのだらうと思います。さっき遊んでいたことが面白いと感じていたからだろう。一瞬の出来事だったが、Aくんは体全体でいろいろなことを感じながら遊んでいたのだなと思いながら、Aくんの遊びを見守りました。

家庭だったら・・・

子どもの行動を見つめると、私達大人が当たり前だと思っていたことに立ち止まる子どもの姿にハッとさせられることはありませんか？風や雨、虫や花、水の流れや砂の感触など、五感を通して育っていく子ども達を見ると、嬉しくなります。

そんな子ども達の姿を、毎月、ていあシートを通じて発信していきたいと思います。ご意見、ご感想、お待ちしております。